

What 人生100年時代に向けてどのような移動とモビリティのシーンを創出すべきか

回答欄：
・高齢者・身体不自由者が安心して活動できる"安全"なモビリティ
・安全な歩行空間()
・目的としての移動(移動自体に魅力が持てる)率の高まり（通勤など手段としての移動を減らす(減っているはず)）

Why なぜ上記のシーンを創出しようと思ったか

1) 現在のライフシーンを取り巻く状況

回答欄：
交通事故死の高齢者比率の下げどまり
高齢者の免許返納など移動手段の選択枝縮小 歩行移動時の事故増？

2) 人生100年時代に想定される変化

回答欄：
・移動の安全性高まる(義務的移動は減っている)
・高齢者の第2ステージスタート
・モビリティ選択枝の増加（緩・急）

3) 新しいライフシーンはどのような豊かさを私たちの暮らしや社会にもたらすか

回答欄：
移動自体の楽しみ増加。楽しく・安全な乗り物。旅行・ショッピングの移動も含む
安全・安心の高まり
義務的移動の削減 時間の有効活用(不要？な時間削減 有効時間に置き換え(られる？))

How 上記のシーンの創出のために変化をどのように取り入れ、都市・インフラをどのように変えていくか

1) ライフシーンの変化＝シフトの取り入れ方

回答欄：
第2ステージのスタートイベント。ex)60歳から新たな免許、60歳以上で無いと使えないモビリティや行けない場所
55歳でもいいかも

2) 着目する都市・インフラ

回答欄：
モビリティ別のインフラ
安全な歩行空間